

時間割コード	G1D11139	開講年度	2026				
授業題目	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ I (A) (初級)					担当教員	森木 順子
英文授業名	Academic English Phase I (A)						
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・2時限	対象学生	F I (10)
講義室	共通教育 2 6 講義室			授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	大学DP						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力					⇔	大学での学修の土台となるAcademic Skillsを使えるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	上述の目標を達成するために、Academic Reading及びAcademic Writingの演習を行う。 ・ Academic Reading: アカデミックレベルの語彙を修得し、文法や構文の正しい理解を基に学術的な英文を読解する。 ・ Academic Writing: 文法・語法、コロケーションの演習、アカデミックレベルの語彙の確認、自然な英語表現を身につけるための演習を行いながら、正確かつ的確な英文を書く。						
(5)授業のキーワード	Academic Reading Academic Writing Natural Expression						
(6)授業計画	第1回 イントロダクション ・ Reading: Unit1-1 理由で押し切る 1 第2回 Unit 1 パラグラフの構造について ・ Reading: Unit1-2 理由で押し切る 2 第3回 Unit 1 パラグラフの構造について ・ Reading: Unit2-1 社会現象を考える 1 第4回 Unit 2 Developing Ideas for Writing ・ Reading: Unit2-2 社会現象を考える 2 第5回 Unit 2 Developing Ideas for Writing ・ Reading: Unit3-1 ブームを考える 1 第6回 Unit 3 Topic Sentenceについて ・ Reading: Unit3-2 ブームを考える 2 第7回 Unit 3 Topic Sentenceについて ・ Reading: Unit4-1 説得は実験で 1 第8回 中間テスト・解説 第9回 Unit 3 Topic Sentenceについて、Unit 4 Supporting & Concluding Sentencesについて ・ Reading: Unit4-2 説得は実験で 2 第10回 Unit 4 Supporting & Concluding Sentencesについて ・ Reading: Unit5-1 賛成？反対？1 第11回 Unit 4 Supporting & Concluding Sentencesについて ・ Reading: Unit5-2 賛成？反対？2 第12回 Unit 5 Paragraph Review ・ Reading: Unit6-1 比べてみよう 1 第13回 Unit 5 Paragraph Review ・ Reading: Unit6-2 比べてみよう 2 第14回 Unit 5 Paragraph Review 第15回 まとめ 第16回 期末テスト・授業アンケート						
(7)成績評価の方法	・ Academic Reading/Academic Writingに関する課題など：課題 (20%)、中間テスト&単語テスト(20%)、提出物(10%)、グループ・ワーク(10%) ・ 期末テスト (40%) この授業の達成目標に到達するために必要な出席回数に満たない場合は、成績評価の対象外とし、評点は0点となります。						
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」 とみなす。						
(9)事前事後学習の内容	・ この授業は1単位のため、15時間以上の授業時間外学習を必要とします。 ・ 予習、復習に関してはその都度、授業の中で伝えます。						
(10)履修上の注意	・ 授業への積極的な参加と定期的に出される課題への意欲的な取り組みが必要です。授業中に伝えた予習、復習は必ず行って授業に臨んで下さい。また、授業外の時間になるべく多く英語に触れる機会を作るようにして下さい。1例として、英語音声の映画を見ることをおすすめします。また、教科書を使っ ての復習ですが、ぜひ音読をしてみてください。教科書の音声はeALPSに載せておきますので、音声に合 わせてのオーバーラッピングをおすすめします。 ・ 授業が始まって30分までを遅刻とします。また、遅刻3回で欠席1回になりますので、気を付けて下 さい。						
(11)質問,相談への対応	月・火・水・金の空き時間、またはメールにて対応します。 メール・アドレス：jforest@shinshu-u.ac.jp						
(12)授業への出席	・ 全ての回に出席することを基本とします。 ・ 授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外 (評点は0点)となります。 ・ 感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみな						

(12)授業への出席	しません。 ・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	Writing: Great Writing 2, CENGAGE Learning Reading: Outlook on Society『構造で読む社会科学エッセイ』，南雲堂
【参考書】	英和辞書等を必要に応じて使用して下さい。